

YACかわら版 183 2021年11月9日

ケネディー宇宙センター-11月6日

11月6日16:05:30 UTC 「Crew-3 Mission」、「Starlink 4-1 Mission」、「Crew-2 Splashdown」の3つのミッションが天候不順などで遅れて重なっているケネディー宇宙基地周辺を、センチネル2が観測しました。

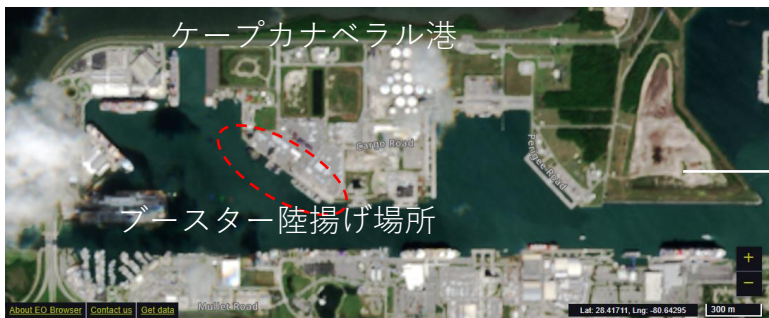
星出宇宙飛行のCrew-2が宇宙ステーションからドッキングを解除する最も早い機会は、11月7日でした。フロリダ沖でのスプラッシュダウン（宇宙船などの着水）のために地球への帰還を開始する予定でしたが大西洋の悪天候でバックアップのドッキング解除の機会が11月8日に予定されています。

ケネディー宇宙センターLC-39A発射台からは SpaceX Falcon 9ロケットで、クルードラゴン宇宙船を打ち上げます。「Crew-3 Mission」のクルーは、国際宇宙ステーションで6ヶ月間の探検を開始します。打上は10月30日、10月31日、11月3日から変更されています。

ケープカナベラル宇宙軍ステーションSLC-40発射台からは、スターリンクインターネット衛星群の衛星60基が打ちあげられます。8月中旬から打上げは延期されています。

発射台群の南には、ケープカナベラル港があります。YACかわら版でも紹介していますようにスペースxのファルコン9の第1段ブースターは回収され再利用されます。ノーズコーも再利用されます。海上でそれらを回収するための船舶群がカナベラル港を母港にしています。

ブースターの着地するドローンシップ、そのタグポート、ノーズコーン回収船。クルードラゴン宇宙船を回収する場合はヘリコプター搭載のより大型の支援船等が用意されます。



3つのミッションを支える船舶

Crew-3 Mission

Starlink 4-1 Mission

Crew-2 Splashdown



Just Read the Instructions

Doug

Finn Falgout

GO Searcher

GO Navigator

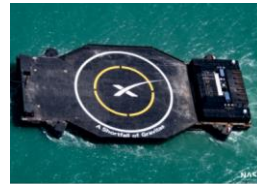
カナベラル港で待機中

西海面担当

東海面担当

MANATEE 港待機

カナベラル 港待機



MARMAC 302

Bob

11月7日カナベラル港出向し
ブースター回収地点に移動中



シェーン・キンブロー、トーマス・ペスケ、星秀明彦、メーガン・マッカーサー宇宙飛行士の地球への帰還



インターネット通信システムのための
SpaceXのスターリンク衛星60基打上



ラジャ・チャリ、トーマス・マーシュバーン、マティアス・マウラーの宇宙飛行士やミッションスペシャリストをISSに

<https://pbs.twimg.com/media/FDboUnGVkAQc0Ru?format=jpg&name=900x900>

港内の関係船舶

船名
関係仕事

Crew-2



GO SEARCHER

Crew-3



DOUG

Crew-3



Finn Falgout

ケネディー宇宙センター

11月8日の様子

2隻の電波最終発信時刻が異なるので2隻の位置関係は不明です

90 x 30 m
3.4 kn / 46°

2021-11-07 18:57 UTC

位置 28.36641° / -80.39356°

MARMAC 302
Other



US PCV
ATD: 2021-11-07 13:02

PAST TRACK

長距離を自走することは苦手です
ブースターは以前の回収時

ケープカナベラル港

BOB
Offshore Supply Ship



US PCV
ATD: 2021-11-07 12:59

PAST TRACK

2021-11-07 17:15 UTC
位置 28.3495° / -80.43282°
4.0 kn / 59°
85.37 x 18.29 m